

— 江南市図書館基本計画（概要版） —

1. 計画策定の目的

※江南市図書館基本計画（概要版）内における元号の表記は「平成」を用いることとし、元号法の規定による政令改正後は、新元号の相当する年度に読み替えるものとします。

市民の「知」の拠点であり、生涯学習推進の拠点でもある江南市図書館（公民館図書室・サービスポイント等含む）には、社会情勢の変化などに伴い新たな役割が求められています。しかし、築後 42 年が経過した現在の江南市立図書館（以下、「現市立図書館」とします。）は、施設の狭あい化・老朽化といった問題を抱えており、さらなるニーズに応えていくことが難しい状況です。そこで、本市では、一旦は中止した新たな図書館の整備に関する検討を再開し、これまで検討を重ねてきました。

その一方で、「江南市の南玄関口にふさわしい賑わいと、安心して住み続けられるまちの交流施設」を整備コンセプトとする布袋駅東複合公共施設（以下、「複合公共施設」とします。）整備事業を進めてきたことから、現市立図書館を複合公共施設内に移転して新市立図書館とし、民間施設や他の公共施設と連携して、効率的・効果的な施設整備と機能充実の実現を図ることとしました。

以上を踏まえた上で、「江南市図書館基本計画」では、将来の江南市図書館の果たすべき役割や充実すべき機能の方向性、サービス網や施設整備の考え方などを明らかにするとともに、より多くの市民に愛され、利用され続ける本市らしい新市立図書館の実現をめざし、その将来像やサービス、蔵書、施設などの具体的な方向性を定めるものとします。

2. 現市立図書館の現状と特性

2.1. 沿革

江南市図書館は旧古知野町役場内の図書室の設置に始まり、昭和 51 年 4 月の現市立図書館の開館などを経て現在に至っています（右表参照）。

表 江南市図書館のあゆみ（抜粋）

年月	主な経過・取り組みなど
昭和 29 年 6 月	本市誕生、庁舎内に図書室を設置
昭和 51 年 4 月	現市立図書館を開館
平成 4 年 5 月	コンピューターシステムを導入
平成 15 年 8 月	公共施設での貸出・返却を開始
平成 19 年 4 月	指定管理者制度を導入

2.2. 新たな図書館の整備に関するこれまでの経緯

新たな図書館の整備に関する検討は、財政上の理由などから平成 16 年度に一旦白紙となりました。その後、平成 24 年度に検討を再開し、職員やボランティアによる協議を重ねてきました（右表参照）。

表 新たな図書館の整備に向けた主な取り組み（平成 24 年度～）

年度	主な取り組みなど
平成 24 年度	「第 2 次江南市生涯学習基本計画」を策定、検討再開
平成 26 年度	市議会が「図書館問題特別委員会」を設置
平成 27 年度	「これからの江南市立図書館のあり方を考える職員検討会」を設置
平成 28 年度	「図書館で活動をするボランティア等を対象とした会議」を開催 平成 28 年度生涯学習講演会 「まちの未来につながる図書館」を開催

2.3. 施設の現状

現市立図書館には、老朽化の進行やエレベーターの未設置といった利用に不便な点がありますが、バリアフリー工事などの利用環境向上に向けた取り組みを進めています。

表 建物の概要

項目	内容	項目	内容
所在地	江南市石枕町神明 82 番地	開館年月	昭和 51 年4月
構造	鉄筋コンクリート造 3階建	建築面積	438.83 m ²
延床面積	962.32 m ² (1階 433.83 m ² 、2階 407.65 m ² 、3階 120.84 m ²)		



1階 新聞・雑誌コーナー



中2階 開架書庫



2階 児童コーナー

2.4. サービスの現状

現市立図書館では、子どもから高齢者まで幅広い市民に対して下表に示すサービスを提供しており、開館日数は他自治体公共図書館と比較しても非常に多くなっています。施設の管理運営には指定管理者制度を導入しています。

表 サービスの概要

項目	内容	
開館時間	9:00～18:30	休館日 毎月第4木曜日 年末年始(12月29日～1月4日) 蔵書点検期間(11月中旬)
開館日数	333日(平成29年度)	
登録要件	愛知県内在住・在勤・在学者	
貸出冊数	図書・雑誌・紙芝居…10点2週間 CD・DVD・ビデオ…2点2週間 合計10点	
その他	予約・リクエスト、レファレンス、複写、配本、宅配・郵送貸出などへの対応 おはなし会の開催、読書通帳の配布、ブックスタートの実施 など	

2.5. 所蔵資料・利用の現状

平成29年度までの5年間で資料は約3千点増加していますが、資料種別の構成は一般書が約61%、児童書が約25%で大きな変化はありません。

利用はほぼ横ばいで推移しており、児童書の利用が増加傾向にあります。若年層や本市北西部在住者の利用は少なくなっています。

表 所蔵・貸出点数(平成29年度)

資料種別	蔵書(平成29年度)		貸出(平成29年度)	
	点数(点)	構成比(%)	点数(点)	構成比(%)
一般書	76,180	60.7	186,305	46.5
児童書	31,107	24.7	173,766	43.3
雑誌	2,304	1.8	24,563	6.1
視聴覚資料	2,911	2.3	15,703	3.9
郷土・横田 文庫・点字	13,193	10.5	762	0.2
合計	125,695	100.0	401,099	100.0

3. 江南市の概要・まちづくりの方向性と図書館の役割

3.1. 江南市の概要

本市は、名古屋圏のベッドタウンとしての機能を強めながら発展してきましたが、人口は近年減少に転じ、高齢化率も上昇しています。また、多くの戦国武将にゆかりのある土地でもあり、市内には貴重な歴史資源なども存在します。

表 各種動向

項目	動 向
人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口 100,749 人、世帯数 40,797 世帯(平成 30 年4月1日現在) ● 人口は平成 26 年以降減少、平成 47 年以降は高齢化率が 30%以上の見込み
通勤・通学	<ul style="list-style-type: none"> ● 名古屋市への通勤・通学者が多く、一宮市からの通勤・通学者が多い
産業・経済	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリア織物の産地として発展し、製造業が主要産業 ● 「越津ねぎ」や「江南なばな」などの名産品を生産
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 曼陀羅寺公園の藤や戦国武将ゆかりの史跡などの魅力的な観光資源が存在
運輸	<ul style="list-style-type: none"> ● 名鉄犬山線江南駅・布袋駅が立地、バス定期路線も運行

3.2. まちづくりの方向性と図書館の役割

本市の各種計画・事業のまちづくりの考え方のうち、新市立図書館整備にあたって特に考慮が必要な事項は下表のとおりです。市民にとって身近で、生活の役に立つ新市立図書館が求められていると考えられます。


表 本市のまちづくりから新市立図書館に求められる役割

まちづくりの方向性	求められる新市立図書館の役割
市民の暮らしやすさ、 「生活都市」の機能を重視	<ul style="list-style-type: none"> ● あらゆる世代の市民が充実した生活を送るための支援
子ども・子育て政策を重視	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども・子育て関連情報の提供を中心とした子育ての支援
市民協働を重視	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民意見・提案の積極的反映、市民協働の推進

4. 図書館を取り巻く動向

近年の社会的動向の変化に伴い、全国の公共図書館で特長的な取り組みが見られます。

表 社会的動向の変化と公共図書館での取り組み

社会的環境の変化	特長的な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化・人口減少 ● ICT化の進展 ● ライフスタイルや価値観の変化 ● 地域コミュニティの希薄化 ● 地域の記憶の必要性の高まり ● 経済や文化のグローバル化 ● 貧困と格差の出現 ● 学校図書館との連携要請の強まり など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て層の居場所づくり ● ICTの積極的な活用 ● 賑わい・交流の重視 ● 多様な面での市民参画 ● 複合施設内で連携したサービスの提供 など 

5. 市民ニーズ

新市立図書館に対する市民の主な意向は下表のとおりです。豊富な蔵書やゆとりある空間、多様な利用目的に対応した環境、交通アクセスの整備などへのニーズが多く見られます。

表 新市立図書館に関する市民ニーズ

手法	新市立図書館に必要とされた主な事項
ボランティアヒアリング調査: 7団体 12名 平成30年7月18日(水)	<u>活動支援</u> : 会員募集支援/団体間での連携の機会・場 <u>充実した施設・設備</u> : ボランティア室/おはなしの部屋/会議室 録音室/多目的ホール/駐車場・駐輪場 など <u>その他</u> : 公共交通
職員ヒアリング調査:16名 平成30年6月28日(木)	<u>充実した資料・サービス</u> : 新刊書/ビジネス書/絵本・児童書 若い世代・高齢者向けの行事/調べもの支援 など <u>充実した施設・設備</u> : 一般・児童開架/おはなしの部屋/授乳室 学習室/会議室 など <u>その他</u> : 保健センターとの連携/公共交通 ICタグシステムによる資料管理 など
市民アンケート調査:955票 平成30年 6月15日(金)~29日(金)	<u>多様な利用</u> : ・「ゆったりとくつろいで本や雑誌を読むことができる」(55.4%) ・「目的がなくても気軽に立ち寄ることができる」(32.9%) など <u>閉館時間の変更</u> :「20時」(31.4%)が最多
利用者アンケート調査:438票 平成30年 6月8日(金)~17日(日)	<u>多様な利用</u> : (※市民アンケートと比較して重視されている項目) ・「静かな空間で落ち着いて学習ができる」(22.1%) ・「予約した図書や館内の図書を自身で借りたり返したりすることができる(セルフ貸出・返却)」(20.5%) など <u>閉館時間の変更</u> :「19時」(40.6%)が最多
平成28年度生涯学習講演会 「まちの未来につながる図書館」 アンケート:158票 平成29年2月18日(土)	交通アクセス/蔵書/読書スペース/学習スペース 高齢者や障害者にやさしい
市民ワークショップ:23名 平成30年7月22日(日)	<u>充実した資料・サービス</u> : 豊富な資料/容易な検索方法/利便性の高い貸出・返却方法 成人向けの講座/積極的な情報発信 相談対応/館外サービス/利用促進 他施設との連携/江南市らしさ など <u>充実した施設・設備</u> : おはなしの部屋/児童開架スペース スタジオ/カフェ・飲食スペース 郷土資料コーナー/視聴覚室 駐車場・屋外空間/公共交通 など



6. 江南市図書館の課題と今後のサービスのあり方

6.1. 江南市図書館の課題

「5 市民ニーズ」までを踏まえると、江南市図書館は資料面、サービス面、施設面のそれぞれで以下の課題を抱えていると考えられます。

江南市図書館で想定される課題

資料面： 十分な質・量の資料の確保／市民ニーズや社会情勢の変化への対応

サービス面： 利用の促進・拡大に資するサービスの提供／市民の抱える課題の解決に資するサービスの充実
子育て環境の向上に資するサービスの強化／賑わい・交流創出に資するサービスの推進

施設面： 快適な読書・学習環境の確保／利用のしやすさや親しみやすさへの配慮

6.2. 今後の江南市図書館のサービスのあり方

(1) 江南市図書館の基本理念

今後の江南市図書館では、市民の生涯にわたる読書・学習活動を支援するだけでなく、市民生活そのものを支援し、本市全体での住みやすさや利便性、子育て環境の向上などへと貢献することをめざし、『市民一人ひとりの暮らしに寄り添い、幸せをかたちにする図書館』を基本理念とします。

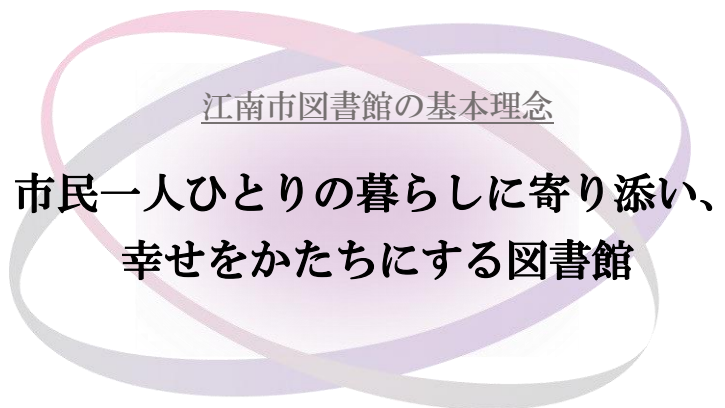


図 江南市図書館の基本理念

(2) サービス網の考え方

今後の江南市図書館では、現在のサービス提供体制を基本としながら下図に示すとおり市内全域でのサービス網を充実し、サービス向上を図ります。

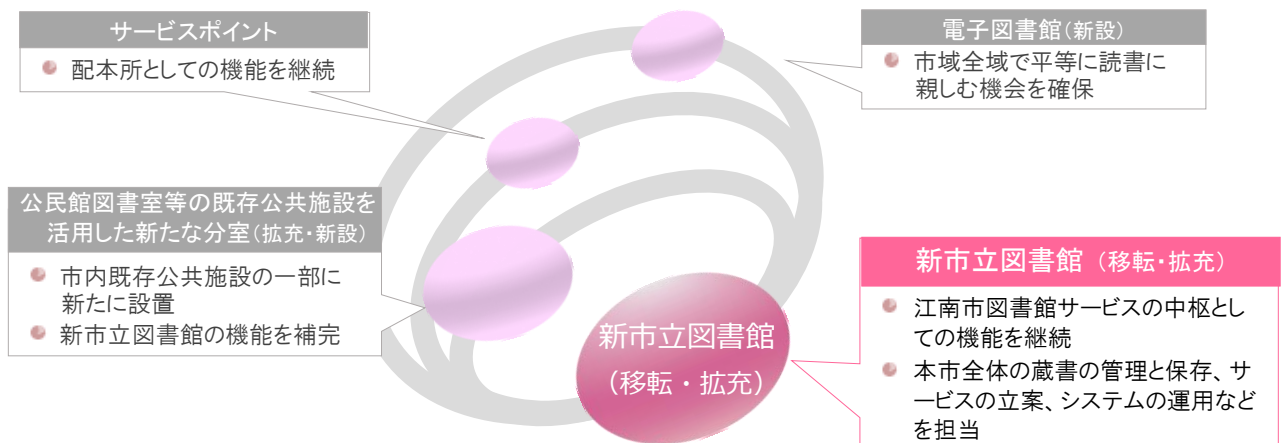


図 今後のサービス網

7. 新市立図書館の基本方針・サービス計画と資料収集計画

7.1. 基本方針

「6.2(1)江南市図書館の基本理念」に示す内容を実現するため、新市立図書館では、以下の5つの基本方針にもとづきサービスを提供するものとします。

知

基本方針1：知の拠点となる図書館

人口に見合った蔵書の提供／まちへの誇りや愛着の形成／資料・情報・人との接点の演出 など

育

基本方針2：未来を育てる図書館

子どもの読書活動の推進／中高生の居場所づくり／子育ての支援 など

彩

基本方針3：生活を彩る図書館

日常生活の支援／自由時間活動の支援 など

優

基本方針4：優しさに手が届く図書館

多様な学びの提供／高齢者・障害者等の利用支援／電子図書館の提供 など

結

基本方針5：人と人とを結ぶ図書館

出会いや交流の支援／魅力や利便性の向上／市民参画の促進 など

7.2. サービス計画

「7.1 基本方針」を踏まえ、新市立図書館のサービスを下表のとおり考えます。

表 新市立図書館のサービス計画の概要

基本方針	サービス計画(大分類)	サービス計画(中分類)
知	1: 資料・情報との接点を拡大	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に利用可能な豊富かつ多様な資料を提供 江南市らしさの詰まった資料・情報を提供 本市及び事業予定地に相応しい資料・情報を提供
	2: 多様な学習・成長機会を創出	<ul style="list-style-type: none"> 読書や学びとの新たな出会いを演出 自主的・自発的な学習・課題解決を支援
育	1: 子どもの成長に応じた読書・学習機会を拡充	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児・児童の読書意欲や知的好奇心を喚起 ティーンズ世代が読書・活動を楽しむ環境を充実
	2: 子育て世代の不安を解消	
	3: 小中学校・幼稚園・保育所などとの連携を推進	
彩	1: より豊かでより快適な暮らしを実現	<ul style="list-style-type: none"> 調査・相談対応(レファレンスサービス)を拡大 日常に役立つ多彩な資料・情報を発信
	2: 手軽で気軽な癒しやくつろぎを創出	<ul style="list-style-type: none"> 多様な利用者に応じた居場所を確保 利便性の高い適切な開館日・開館時間を設定

基本方針	サービス計画(大分類)	サービス計画(中分類)
優	1:すべての市民が等しく利用できるサービスを提供	<ul style="list-style-type: none"> - 働き盛り世代の仕事と生活を応援 - 生きがいある豊かな高齢期の実現に貢献 - 来館・利用が困難な市民を手助け
	1:「場」としての賑わいや交流を創出	<ul style="list-style-type: none"> - 利用者同士の新たな結びつきを構築 - 市民活動や成果発表の場を形成
結	2:他機関と連携して賑わいや交流を創出	
	3:市民との図書館づくりを継続	

7.3. 資料収集計画

新市立図書館では、「江南市立図書館図書収集要領」のほか社会的動向や時代の変化、技術の進展等にも配慮して資料を収集します。

表 新市立図書館の資料収集計画の概要

資料種別	収集計画
一般書	● 各分野を網羅的かつ体系的に収集。利用者ニーズや出版動向にも配慮
郷土資料	● 本市に関する資料を可能な限り収集。尾張地域関連資料も選択して収集
参考資料	● 幅広い分野にわたり網羅的に収集。適切に更新
ティーンズ資料	● 成長や学習、課題解決に役立つ資料や関心の高い資料を収集
児童書	● 成長や学習・読書習慣の形成に役立つ資料を収集。充分な量・水準を確保
視聴覚資料	● 幅広く豊富な資料を収集
雑誌・新聞	● 新鮮な資料を幅広く収集。雑誌は各分野で基本的なタイトルを複数収集
電子書籍	● 図書資料に準じて収集。電子書籍の特性を活かした資料を積極的に収集

8. 新市立図書館の蔵書規模

今後の人口減少や人口構造の変化も見据えた上で、新市立図書館の蔵書冊数の計画値は以下及び右表のとおりとします。

児童書は、質・量の両面からさらなる充実を図ります。

表 新市立図書館の蔵書冊数の計画値

規模
収蔵冊数 約 30 万冊
開架 50% : 閉架 50%
一般書 70% : 児童書 30%

表 新市立図書館の資料種別蔵書冊数の計画値

資料種別	新市立図書館	
	冊数(冊)	構成比(%)
図書	約 300,000 冊	100.0%
一般書	約 210,000 冊	70.0%
(内数)	郷土資料	約 16,500 冊 5.5%
	参考資料	約 9,000 冊 3.0%
	ティーンズ資料	約 9,000 冊 3.0%
児童書	約 90,000 冊	30.0%
視聴覚資料	約 6,000 点	-
雑誌	約 170 誌	-
新聞	約 15 紙	-

9. 新市立図書館の施設整備計画

9.1. 必要諸室及び施設規模

新市立図書館の施設規模の計画値は約 3,800 m²とします。

表 新市立図書館の施設規模

区分	部門	ゾーン	諸室	面積
利用者	導入		ロビー／情報スペース	130 m ²
	開架	児童開架	児童開架スペース／おはなしスペース 児童カウンター／子ども用トイレ／授乳室	530 m ²
		一般開架	一般開架スペース／新聞・雑誌コーナー インターネット・AVコーナー／対面朗読室 サービスカウンター／レファレンスカウンター	1,457 m ²
	集会・学習		イベントルーム／学習室／グループ学習室	270 m ²
管理	事務・管理		事務作業室／会議室／サポーター室／休憩室 更衣室／倉庫	350 m ²
	保存		閉架書庫	300 m ²
共用			階段／廊下／EV／機械室／トイレ等	総面積の 20%
合計				≒3,800 m ²

9.2. 各諸室のイメージ・必要備品等

新市立図書館全体としては、市民にとっての利用のしやすさやわかりやすさなどに配慮します。また、施設としての一体感の形成や、静寂と賑わいとが融合し、共存する空間の実現を図ります。想定する主要な諸室のイメージは下表のとおりとします。

表 新市立図書館の諸室イメージ概要

主な諸室	イメージの概要
ロビー・情報スペース	● 気軽な利用や滞在を促進
児童開架スペース	● 居心地の良さや親しみやすさに配慮し、保護者同士の交流も促進
一般開架スペース	● 読書や調べもののための空間として、全体としての調和にも配慮
参考資料コーナー (ビジネス支援コーナー)	● 調べものための資料やビジネス関連図書の資料を配架
郷土資料コーナー	● 利用者の目につきやすい位置で郷土・地域・行政資料を配架
ティーンズコーナー	● やや独立した環境で、ティーンズ世代の居場所を確保
新聞・雑誌コーナー	● 当日の新聞や最新号の雑誌などを配架
インターネット・AVコーナー	● 個人や友人・家族同士での館内視聴に対応
イベントルーム	● 映像・音響機器を使用した各種イベント・講座・講演会に対応
学習室・グループ学習室	● 個人学習席のほか、複数人で利用可能なグループ学習室を設置
サポーター室	● サポーターの活動・交流・作業に利用



江南市マスコットキャラクター
藤花(ふじか)ちゃん

江南市図書館基本計画（概要版）

平成 31 年 3 月

<発行> 愛知県江南市 〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90 番地 TEL : (0587) 54-1111 (代表)

<編集> 教育部生涯学習課